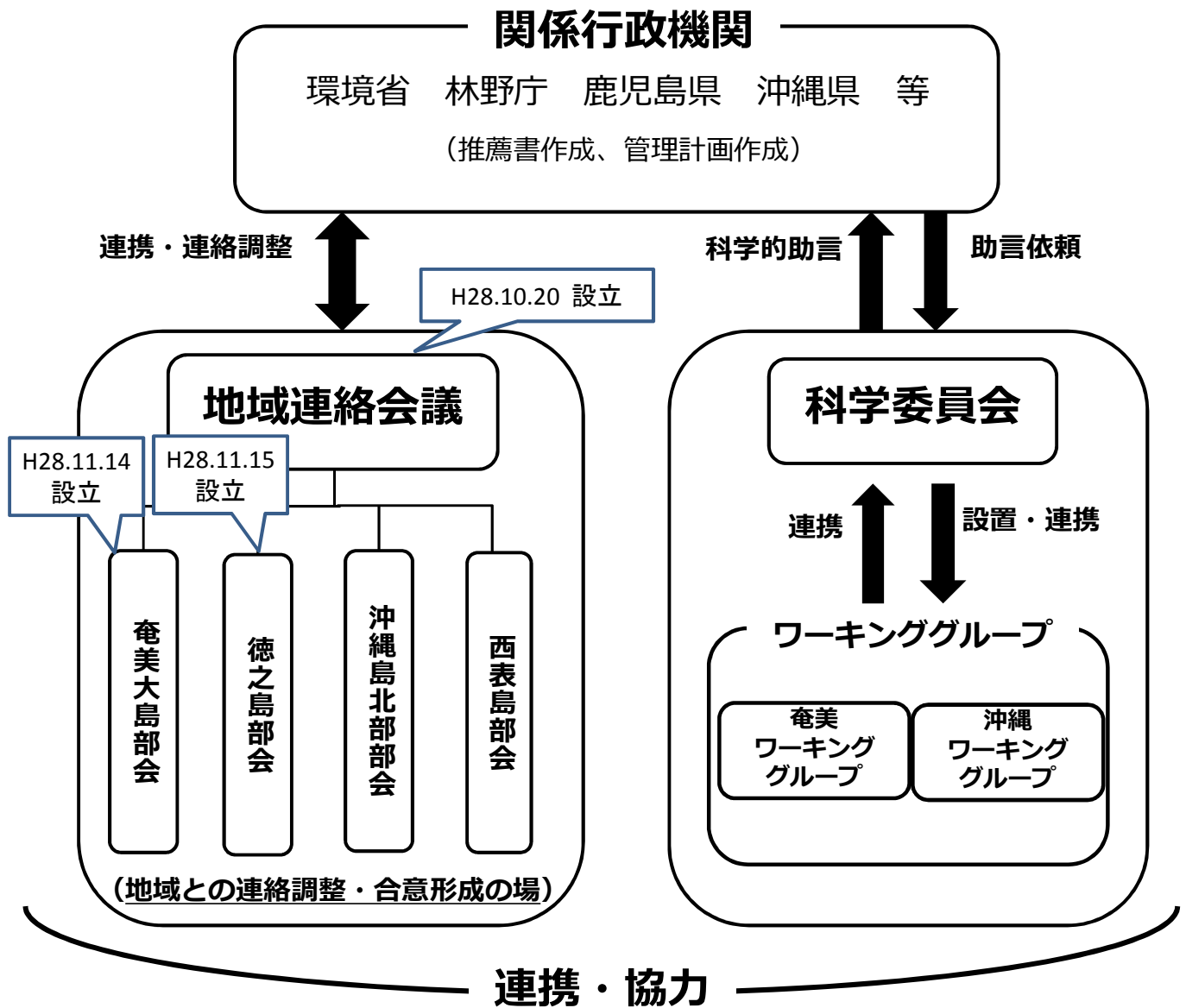


平成28年度第1回奄美・琉球世界自然遺産候補地科学委員会(H28.11.2)資料(抜粋)

奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島世界自然遺産 推薦書及び管理計画の検討体制



■科学委員会の役割

奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島世界自然遺産候補地の世界自然遺産としての価値の証明や、自然環境の適正な保全管理についての科学的助言を行う。

特に自然環境の保全管理については、地域単位で詳細な議論を行う必要があるため、候補地科学委員会の下に設置される奄美・沖縄各ワーキンググループにおいて中心に扱う。

■地域連絡会議の役割

科学委員会の助言を受けつつ候補地の適正な管理のあり方の検討や、関係機関間との連絡・調整を行うことを目的として設置する。メンバーは関係行政機関、地元関係機関、地元関係団体等。地域連絡会議のもと、各地域毎に部会を設置する。

■関係行政機関の役割

各種会議の連絡調整を図るとともに、推薦書・管理計画作成に向けた準備・調整を行う。

那覇自然環境事務所、九州森林管理局、鹿児島県、沖縄県等からなる。